

令和2年度 吉川市立旭小学校 学校公開用

この学校評価は、学校の現状やこれまでの努力とその結果を公表し、家庭・地域にお知らせするとともに、今後の取り組みに向けて家庭・地域の理解や連携協力をお願いするものです。

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての 評価の説明及び学校の考え	学校関係 者評価	評価に対する学校の説明・考察
1	学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	A	コロナ禍のため、取り組みが様々な制限を受けているが、その中でできることを行っていることが評価されている。	A	学校だより等をよく目を通していただき、理解が得られている。今後もきめ細やかな情報発信を維持、発展させていく。
2	学校は、児童生徒の学習環境の整備に努めている。	A	ICT機器を中心に整備が進められている。今後は操作する教職員の育成を重点的に進める必要がある。 →PCサポート出勤時に研修を行う。	A	学校だより等をよく目を通していただき、児童生徒の学習環境の整理状況の理解が得られている。
3	校長を中心として、全職員が協力して児童生徒のために努力している。	B	学校のきまり等、かつて年度当初に確認されていたことが、休校等の影響で徹底されなかった節がある。 →年度当初の職員会議や、生徒指導推進委員会で、定期的に話し合う。	A	コロナ禍での教職員の指導に肯定的な意見をいただいている。また、校長の判断、情報発信の早さを評価していただいている。
4	学校は、保護者や地域に学校行事や授業を公開している。	A	活動に制限がある中で、やれることをやっている意識がある。	A	コロナ禍で様々な制限があることを十分理解していただき、評価されている。
5	学校は、学校の様子や成果を「学校だより・学年だより」等を活用し、情報提供している。	A	「学校だより」のみならず、ほぼ毎日更新される公式ホームページや、重要な連絡のメールでの情報提供を行っている。	A	学校だよりや、学校ホームページ、保護者メール等の情報発信を評価していただき、信頼が得られている。
6	学校は、保護者や地域からの相談や要望に応えている。	A	「地域に支えられた学校」という意識を多くの教職員が共有している。今後もこの関係を維持、発展させていく。	A	旭自治連合会との協力体制、保護者からの情報提供や相談に素早く対応しているとの評価をいただいている。今後もさらに発展させていく。
7	児童生徒は、落ち着いて学習に取り組む、学習内容を理解しようとしている。	A	学力向上に向け、日々研鑽をつんでいるが、宿題、学習の用意の忘れなどに危機意識を持っている。 →生徒指導推進委員会で話し合いを強化する。	A	概ね、児童の頑張りを肯定的に捉えていただいている。
8	学校は、教材や指導方法を工夫し、児童生徒にわかりやすい授業を心がけている。	A	クラスの実態のみならず、個に応じた指導法を常に考え、話し合い活動を中心に校内研修に励んでいる。	A	授業参観を通して、教職員の様々な工夫を実際に見ていただき、評価されている。
9	学校は、児童生徒の行動や能力を適切に評価している。	A	コロナ禍のため、活動できなかった内容（音楽、体育等）もあり、適切な評価ができない場面もあった。 →評価の在り方の検討会を持つ。	A	一人ひとりに目が行き届いているという評価をいただいている。今後も小規模校の良さを生かしていきたい。
10	児童生徒は、進んであいさつをしたり正しい言葉づかいをしたりすることができる。	A	概ねできてはいるが、学年間で差がある。 →生徒指導推進委員会で話し合いを持つ。	A	概ねあいさつは、評価されているが、あいさつができる児童とできない児童の差が開いていることを指摘された。あいさつの向上を今後さらに進めていく必要がある。
11	児童生徒は、学習のルールや生活の決まりを守ることができる。	A	概ねできてはいるが、学年間で差がある。 →年度当初にきまりの確認を徹底する。	A	授業参観、登下校の様子からルールや決まりを守っていると受け止められている。今後も、さらに維持、発展させていく。
12	児童生徒は、時間を守ることができる。	B	始業の時間が遅れる。時間で始まる授業を児童のみならず、職員も意識する必要がある。 →生徒指導委員会、倫理確立委員会等で常に話題にする。	A	登校時、遅れて歩いてくる児童をよく把握されている。さらに指導を重ねる必要がある。
13	学校は、規範意識を高めるための指導に取り組んでいる。	A	概ねできてはいるが、学年間で差がある。 →生徒指導推進委員会で話し合いを持つ。	A	学校だより等から規範意識を高める指導が認識され、学校の取組に理解が得られている。
14	児童生徒は、体育の授業や部活動又は外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B	コロナ禍により、朝の運動ができなかった。朝マラソンをとの声もあるが、健康観察の徹底を考慮すると、できる範囲のことを実施していくことになる。	A	コロナ禍では、十分な活動が実施できないことを理解していただき、制限のかかる中で、努力している姿勢を評価されている。
15	児童生徒が、健康な生活を送れるよう食育に取り組んでいる。	A	給食委員の活動が評価されている。	A	「完食週間」等の取組が評価されている。
16	学校は、児童生徒の健康・安全や体力向上に向けた取り組みを行っている。	B	14と同様、コロナ禍により、朝の運動ができなかった。朝マラソンをとの声もあるが、健康観察の徹底を考慮すると、できる範囲のことを実施していくことになる。	A	コロナ禍では、十分な活動が実施できないことを理解していただき、制限のかかる中で、努力している姿勢を評価されている。
17	学校は、児童生徒の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切にしている。	A	小規模校の良さを生かし、全職員が児童一人ひとりをよくみて、声掛け等指導にあたっている。	A	コロナ禍で激変した学校生活にあっても、教職員が児童一人ひとりを大切に、指導している姿勢を評価していただいている。
18	学校は、いじめや不登校をなくすため、児童生徒への指導の充実を図っている。	A	生徒指導推進委員会、教育相談部会等、組織を活用して対応している。	A	情報提供の早さを評価されているが、今後さらに一層の努力をしていく必要がある。